

2018 年度 第 1 回 J V A 加盟団体代表委員総会が開催される

【専務理事 竹淵光雄】

6 月 29 日(金)、2018 年度の第 1 回 JVA 加盟団体代表委員総会が開催されました。

会議に先立ち、嶋岡会長から基本方針の再確認、評議員の選任の変更、新年度予算の経過報告及び目標に触れた挨拶の後、議長には北海道渋谷代表委員が選任されました。

2017 年度事業報告及び決算について報告から始まり、中期収支予想の説明、報告書類の説明、用語の統一、各事業本部からの報告がなされた後、意見交換では MRS の登録料の値上げについての意見交換（ディスカッション）が行われる予定でしたが、パネラーと各連盟からの状況報告のみで、結局時間もなくて打ち切られました。



総会終了後、ベルサール新宿グランドにおいて 2017 年度の J V A 功労者表彰式が開催され、その席上、長年の功績が認められた当協会副会長の江村恵一氏、前副会長の故齋藤信明氏のお二人功労者表彰Ⅱの表彰を受賞されました。

表彰式には江村副会長、故齋藤副会長のご子息である圭一郎氏に出席をいただき、嶋岡会長よりねぎらいの言葉とともに表彰状・バッジが手渡されました。表彰式終了後、功労者Ⅰ・Ⅱ表彰受賞者を囲み、嶋岡会長以下役員、各ブロック長・代表委員により懇親会が開催されました。

江村副会長には今後も健康に留意され、益々のご指導をお願いしたいものです、また故齋藤副会長には心よりご冥福をお祈り申し上げます。



2018-19V. LEAGUE キックオフミーティングが開催される

【専務理事 竹淵光雄】

7 月 21 日(土) 12 時 30 分より東京都中央区八重洲ヒューリックホテル会議室において、昨年まで行われていた「開催地・チーム合同会議」が「2018-19V. LEAGUE キックオフミーティング」と銘打って開催されました。



本年より主催者のVリーグ機構理事・監事、主管するホームゲーム責任者（チーム代表）、JURY、全国ブロック理事長、全国都道府県協会代表者が一堂に介し、情報を共有し、バレーボールのトップリーグとして発展するための会議として、当県からは専務理事の竹淵、VC長野トライデンツ、長野☆ガロonzの関係者が出席しました。

嶋岡会長より、このリーグをどのように活性化し運営していくか、バレーボールを通じて地域をはじめ多くの協力を得て目標を達成したいとの挨拶があり、今年度から主管がチームとして開催される大会運営マニュアルについて各方面より説明がありました。

まだまだ手探りの部分もありますが、大会成功にはホームチームはもちろんのこと、チーム・県協会・各開催地協会と連携をとり、大会成功に向けてご協力を頂きたいと存じます。

平成 30 年度 第 68 回中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会

高校男子は松本国際が優勝 V C 長野は準優勝に終わる！

【専務理事 竹淵光雄】

7月14日（土）～16日（祝）、愛知県豊橋市・豊川市で標記大会が開催されました。

一般男子の部には、昨年覇者のV C 長野トライデンツ（以下「V C 長野」）、準優勝の長野☆G a R o n sに加え、長野スピリッツ松本が参加しましたが、長野スピリッツ松本は1回戦で静岡県の日本文学国際関係学部に競り負け、長野☆G a R o n sも昨年勝ったヴィアティン三重に初戦となる2回戦で敗北。最後の砦となったV C 長野に期待が集まりましたが、愛知県のトヨタ自動車サンホークスとの決勝戦は、第2セットを競り合ってデュースで落としたのが響き、準優勝に終わりました。

高校男子の部には、松本国際が2回戦から登場。準決勝：岐阜商業高校戦の第1セットはデュースとしてしまいましたが、その他は全て20点以下に抑え、失セット0で頂点に駆け上がりました。

尚、女子の部は一般・高校共、初戦敗退という寂しい結果に終わりました。

「中部日本大会 優勝」

【松本国際高校監督 壬生義文】

7月14日（土）から16日（月・祝）にかけて愛知県豊橋市で行われた中部日本大会において、本校男子バレーボール部は創造学園時代から数えて4年ぶり4回目となる優勝を果たすことができました。



今大会は、今夏の異常気象を反映してかつてない猛暑の中での開催となり、長野県とは異なった臨海都市特有の湿気を帯びた重たい暑さとも戦いつつの試合となりました。

この大会を我々は今月末から三重県伊勢市において開催されるインターハイ本大会の前哨戦（予備大会）として位置づけると共に、松本国際高校として初の中部日本大会にもなるため、「優勝」を目標に臨みました。各県の予選を勝

ち抜いたインターハイ出場校との対戦を通じて、チーム力のアップと実戦経験を積み重ね、結果をも併せて求めて戦いました。

北信越大会決勝戦の再現となった福井高校との対戦が初戦という厳しい組み合わせではありましたが、選手たちは落ち着いて対策を練って戦い、続く県立岐阜商業高校との準決勝、石川県立工業高校との決勝戦と全試合をストレートで勝ち上がって目標通りに優勝することができました。

これでここまで新年度になって松本国際高校のユニフォームで戦ったすべての公式試合で優勝を果たしたことになります。

いよいよ大目標であるインターハイ全国大会の大舞台に臨みます。

この勢いで、新しい校名で新しいユニフォームで、信州健児らしく爽やかにひと暴れしてきたいと思っています！

「中部総合を終えて」

【VC長野トライデンツ 笹川星哉】

日頃よりVC長野トライデンツを応援していただき、誠にありがとうございます。7/14～7/16に愛知県豊橋市、豊川市にて中部日本大会が行われ、私たちは前年度優勝チームとして出場致しました。



チームとしてはフィジカル強化期間として日頃トレーニング時間を費やしており、チームとして機能するかは心配でしたが、なんとか決勝まで駒を進めました。しかし、決勝ではトヨタ自動車にフルセットの末敗れ、連覇を逃す結果となりました。

V1開幕まで後3ヶ月。8/24～26には北信越国体もありますので、今大会の課題をしっかりと修正し、レベルアップを図っていききたいと思います。沢山の応援ありがとうございました。

第19回北信越ビーチバレーボール大学選手権大会

長野大学女子バレーボール部 金子・白石ペアが優勝

7月1日(日)、石川県羽咋市千里浜町ビーチバレーボール専用コートで第19回北信越ビーチバレーボール大学選手権大会が開催されました。この大会で長野大学女子バレーボール部：金子夏生・白石もえ香のペアが見事に優勝！併せて上位大会への出場権を獲得しました。以下、金子・白石ペアから寄稿を頂きました。お二人の健闘をお祈り致します。

【長野大学社会福祉学部3年 金子夏生・白石もえ香】

長野大学1はシードだったため、準決勝が初戦で、金沢星稜大学Bと対戦しました。序盤は失点が目立ち、うまく波に乗れませんでした。中盤からはサービスエースで得点を重ねました。ミスも少なくなつてスムーズに試合を運ぶことで、金沢星稜大学Bを28-10で下して決勝に勝ち上がりました。



決勝戦は、新潟医療福祉大学と対戦しました。スタートから攻めの姿勢で相手を突き放していたのですが、中盤以降、スパイクを返球されてからの対応がうまくできずにポイントされてしまう場面が目立ちました。しかし、最後まで攻め続けた結果、相手のミスを誘ったこともあり、28-16で新潟医療福祉大学に勝利することが出来ました。

北信越大会で優勝することができたため、7月14日(土)から兵庫県明石市大蔵海岸公園で行われる第1回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会と、8月7日(火)から神奈川県川崎市川崎マリンで行われる第30回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会に出場することが決定しました。昨年は初戦敗退という悔しい結果に終わってしまっているので、ベスト8を目指して練習に励んでい

たいと思っています。そして最後まであきらめないプレーで、見る人に感動を与えられるような試合をしたいと考えています。

男子はケンタカムカムが初優勝 女子は松商学園高校が4回目の優勝を飾る

【岡谷市協会事務局長 宮本寿明】

今年度の天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会長野県ラウンド岡谷大会が7月1日（日）、岡谷市総合体育館（スワンドーム・東体育館）で開催されました。各カテゴリーより推薦の男子8チーム、女子9チーム、計17チームが岡谷市に集結しました。

選手入場に始まり、江村恵一大会副会長より本大会の趣旨と激励の言葉を受け、岡谷工業高校の山岡龍司主将の選手宣誓となりました。長野県バレーボール協会《スローガン》を披露し、大会における危機管理体制のご案内とご協力をお願いした後、各コートに分かれて熱戦が展開されましたが、接戦の多い大会となりました。



男子決勝は、昨年度優勝の「笑話」対初優勝を目指す「ケンタカムカム」の対戦でした。静と動を巧みに操るクラブチーム同士の大接戦となりましたが、最後にブロックが決まったケンタカムカムが制して2-1で初優勝を果たしました。



女子決勝は、松商学園高等学校とセイコーエプソンの対戦となりました。自信のあるセンター攻撃で先手を取ったセイコーエプソンに対し、準決勝からワンプレーを確認するように得点を重ねてきた松商学園高等学校は、決勝でも最後まで自分たちのプレーを続けて得点を伸ばし、2-1で逆転優勝を勝ち取りました。

男女優勝チームは上位ラウンド（北信越大会）にて勝利を目指すことになります。協会関係者を始めとする皆様の力強い応援をお願い致します。又、出場チームの健闘をお祈り致します。

最後に、大会開催に当たり、県協会を始め各方面よりのお力添えをもって無事終了出来ましたことに感謝申し上げます。

大会 information

平成 30 年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 北信越ブロックラウンド

日程 平成 30 年 10 月 13 日（土）～14 日（日）

会場 長野市ホワイトリング

出場チーム(長野県勢)

男子

ケンタカムカム、VC 長野トライデント、長野☆ガロonz、松本国際高等学校、笑話

女子

松商学園高等学校、ルートインホテルズ Brilliant Aries、東海大学附属諏訪高等学校、JOC 長野

男子はオルガン針 女子は佐久総合病院が優勝！

【松本協会総務委員 伊藤明広】

標記大会が7月8日（日）、松本市波田体育館において男子4チーム・女子3チームの参加のもと開催されました。

昨年度の女子大会は1チームのみの参加でしたが、今大会は初出場の北アルプス医療センターあづみ病院を含む3チームで開催されました。



男子の決勝戦は、日信工業／VNBJ（以下「日信工業」）とオルガン針との対戦となりました。

第1セット、オルガン針は強烈なサーブやレフトの宮原選手を中心とした多彩な攻撃により、終始日信工業をリードし、21－15 で先取しました。

第2セットは、中盤まで両チーム互角の戦いでした。中盤以降、徐々にオルガン針が抜け出しましたが、終盤、日信工業が追いついてデュースに。最後は地力に勝るオルガン針が23－21 で制し、2年ぶりの優勝を果たしました。



一方の女子は、3チームの総当たり戦で行われました。

昨年度優勝の佐久総合病院が威力のあるサーブ、そしてレフト・センターを中心とした攻撃で終始相手を圧倒し、21－7・21－5 で北アルプス医療センターあづみ病院を、21－14・21－10 で六文銭をそれぞれ破り、4年連続の優勝を果たしました。

尚、全国大会は富山県富山市で11月9日（金）から11日（日）まで開催されます。昨年度は男女共に準優勝という結果を収めていますので、今年は優勝を目指して頑張って頂きたいと存じます。

第 38 回全日本バレーボール小学生大会 長野県大会

男子：岡谷 Jr 女子：阿智クラブ 混合：わくわくエース南箕輪 初優勝

【県小学生連盟理事長 西澤悦郎】

7月1日（日）、第38回全日本バレーボール小学生大会の長野県予選が伊那市で開催されました。男子・女子、そして混合の部で、全国大会への出場権をかけて全32チームが熱戦を繰り広げました。

男女の部は、共に3月に行われた長野米カップ（小学生大会の新人戦に相当）の優勝チームである岡谷Jr・阿智クラブが優勝。岡谷Jrは苦しみながら、阿智クラブは失セット0でトーナメントの頂点に駆け上がり、全国大会への出場権を獲得しました。

そして、男子と女子とが混ざってチームを構成する混合の部は、挑戦2年目のわくわくエース南箕輪がトーナメントの頂点に駆け上がり、初めての全国大会出場を決めました。

以下、全国大会に出場することとなった各チーム代表者のコメントです。

【岡谷 Jr. コーチ 小林竜也】



岡谷 Jr. 結成以来初めて全国大会の切符を手に入れました。

去年は、あと一步の所で全国大会には届きませんでした。悔しい思いをした下級生が多数残り、全国大会を合言葉に日々練習を積み重ねてきました。

試合当日は苦しい試合が続きましたが、保護者や他チームの仲間達の応援も選手達の大きな力になりました。

全国大会では、6年生を中心に頂点を目指し、熱い想いを胸に笑顔でバレーボールをしています。

《 阿智クラブ 「全国に向けて」 》【監督 今久留主厚志】



第38回全国小学生バレーボール長野県大会に向けては、仲間たちと1セットでも長くコートに立ちたい、そして優勝をしたいと昨年から目標を決めて練習してきました。

目標通り優勝できたのは、支えてくれた家族や周囲で協力してくれた皆さんのおかげと感謝しています。

初出場となる全国大会では、会場で応援して下さる方、地元で応援して下さる方、全国大会出場に向けて大変苦勞し、準備をしてくれた家族のためにもいい加減なプレーは出来ません、最後まで

諦めないプレーで1試合でも多く勝利したいと思います。

小さな村の小さな小学校から集まった子どもたちで作っているチームです。話題の選手も、飛び抜けて優秀な選手もいません。皆で勝ってきました。結果は結果として、最後は皆で感謝の気持ちを込めてコート上で笑顔で終わりたいと思います。

【わくわくエース南箕輪代表 山田美和】



わくわくエース南箕輪は、3年生から6年生までの男女16名で混合チームとして活動しています。南箕輪村の「わくわくクラブ」の中で、週に3回練習しています。平成29年度より小学生連盟に登録し、平成30年度の第38回大会で全国大会に出場させていただくことになりました。地元中学生が練習に毎週来てくれたり、毎年、東海大諏訪高校との合同練習をしたり、火曜日の練習では、隣のコートで「VC 長野トライデンツ」が練習をしていたりと、たくさんバレーボーラーとの交流をさせていただいています。まだまだ歴史の浅いチームですので、これからたくさんの歴史を選手たちと創り上げていきたいと思っています。

男女共南信決戦を男子は中川中、女子は南箕輪中が制す！

【県中体連専門委員長 牛田佳伸・県強化委員 安藤利長】

標記大会が 7 月 14 日（土）～15 日（日）、須坂市民体育館をメイン会場に開催されました。



男子は第 1 シードの小布施町立小布施中学校（北信地区 1 位）が、初戦で中信地区 4 位の松本市立筑摩野中学校に敗れるという波乱の幕開け。決勝は、南信地区で決勝を戦った上伊那勢同士の対戦となりました。5 年振り 3 回目の優勝を目指す第 2 シードの中川村立中川中学校（南信地区 1 位）は、1 回戦・準々決勝共、フルセットに持ち込まれる大苦戦。北信地区 2 位の長野市立更北中学校との準決勝も、セットカウントこそ 2－0 だったものの、両セット共 20 点以降の競り合いを制しての決勝進出でした。その相手は、優勝すれば 45 年振り 2 回目となる辰野町立辰野中学校（南信地区 2 位）。準々決勝で第 3 シードの安曇野市立三郷中学校（中信地区 1 位）

をセットカウント 2－1 で破り、準決勝でも小布施中を破って波に乗る筑摩野中を危なげなく下して決勝戦に駒を進めました。

中川中は、両エース：水野・水原を軸に得点を重ねて 1 セット目を 25－19 で先取しました。これですんなり中川中が押し切るかと思われた第 2 セットは、辰野中がサーブで攻めて相手の攻撃力を封ずる一方、A クイックとセッターのツーアタック、更にはライトからサウスポーンエース：大森が強打・軟打を決め、25－23 でセットを奪い返しました。優勝が決まる 3 セット目は、お互いに粘り強くレシーブを拾い合う一進一退の攻防が続きました。異常な室温の中、ワンラリーごとに汗まみれのボールをチェンジ。双方気力を振り絞る展開で終盤、21－17 と辰野中がリードしましたが、中川中もサーブを中心に攻め返し、勝負はデュースにもつれ込みました。最後は中川中：水原のブロックが決まり、26－24 でこのセットを奪取。見事 3 回目の優勝を飾ると同時に、辰野中に南信大会の雪辱を許しませんでした。

尚、北信越大会出場決定戦は、北信地区 2 位の長野市立更北中学校が、体格差に物を言わせて筑摩野中を終始リードする展開で 2 セットを連取。北信越大会出場権を確保しました。



一方の女子決勝戦は、常連校だった長野市立裾花中学校不在の中、県新人大会優勝の南箕輪村立南箕輪中学校（南信地区 2 位）と、その南箕輪中を南信地区大会決勝で破った阿智村立阿智中学校という、エプソン杯（県新人大会）の決勝と同じ顔合わせとなりました。両チーム共レギュラーの中心が 2 年生であるにもかかわらず、粘り強いレシーブをベースに、南箕輪中はエースの強打で、方や阿智中はアタッカー陣の巧さで得点を重ねていくチーム同士の対決でした。

1 セット目は阿智中のエースで双子の岡庭優衣と舞衣の攻撃が決まり、中盤以降の競り合いから抜け出した阿智中が相手を 20 点に抑えて先取しました。第 2 セットは、エース：小嶋を中心とした攻撃で得点を重ねた南箕輪中が、逆に 18 点に抑えて取り返しました。勝負の

第3セット、両エースの打ち合いが続き、中盤まで一進一退の攻防が続きましたが、南箕輪中のセンター：春日、ライト：成田の攻撃が効果的に決まり、最後は攻め勝った形で南箕輪中が嬉しい初優勝を飾りました。

尚、北信越大会出場決定戦は、中信地区1位の塩尻市立塩尻西部中学校と、県新人大会4位で東信地区1位の佐久市立臼田中学校という対戦となりました。この試合は、粘り強いレシーブから173センチの1年生：藤井にボールを集めて得点を重ねる塩尻西部中と、キャプテン：西澤を中心に正確なレシーブからのコンビバレーで勝負する臼田中という構図でした。臼田中がリードすると塩尻西部中が追い上げる展開となりましたが、最後は一日の長がある臼田中が逃げ切り、北信越大会の出場権を手中にしました。

北信越大会は8月7日（火）・8日（水）、石川県金沢市で開催されます。出場する男女各3枚の健闘を祈念すると同時に、全国大会への出場権を1校でも多く獲得出来ますようお祈り致します。



平成30年度競技力向上・医科学サポート事業 指導者ミーティングが開催される

【県強化委員 齊間香里】

6月30日（土）、松本市総合体育館において長野県体育協会主催の「平成30年度競技力向上・医科学サポート事業：指導者ミーティング」が開催されました。



今年度初めて全競技全カテゴリー（ジュニア世代）指導の代表者が一堂に会し、今までは冊子等で各競技に広められていた競技力向上理論でしたが、今回は実技講習と講義を持って行われた講習会でした。2027年に長野県で行われる国民体育大会（スポーツ大会）を見越してのジュニア年代の強化も目的とされていました。

内容は、実技指導では『パフォーマンスを高める戦略的なトレーニング方法について』講師：関賢一氏（（株）BCFアスレティックトレーナー）と、講義では『スポーツ障害を発症させない運動指導』講師：加藤光朗氏（長野赤十字病院リハビリテーション科）という2本柱でした。

実技では、パフォーマンスを上げるための動的ストレッチ、肉離れ等の傷害を防ぐハムストリングのストレッチ、またドローインと腹圧を意識した発育発達学を基にした運動等、具体的な実技指導を含めた講習でした。



講義では、腰痛発症のメカニズムを理解することから始まり、胸椎・股関節周囲の可動性を高め、腹筋背筋のローカル筋を意識したコアの安定性を高めることの重要性について学びました。殊に、腰椎椎間板変性保有率は全競技の中でバレーボールが最も高く、実に69%のバレーボール選手が保有するスポーツ障害だというグラフが印象的でした。第2位のウェイトリフティングの62%をも大きく上回る現実に、全バレーボール指導者がスポーツ障害の発生

を可能な限り抑える指導を早急に考えて行く必要性を感じました。

ジュニア世代の指導に当たる指導者が正しい知識を持ち、それぞれの競技に接する未来の宝である選手達の育成に当たる任務の重要さと責任の重さを改めて痛感し、講習を終えました。

Progress Plan2018「工藤憲先生講習会」を開催しました

【県強化委員 唐沢浩一】

7月28日(土)、工藤 憲先生((公財)日本バレーボール協会競技者拡大委員長)を講師にお迎えし、Progress Plan2018『指導者講習会』を開催しました。会場の長野市立篠ノ井西中学校には、受講生、中学生選手併せて約80名が集まりました。



指導者を対象とした講義では、日本におけるバレーボール競技の歴史、スポーツの目的と目標の違い、質の高い楽しさ、内発的動機付けにつながる指導の重要性等、ジュニア期の指導者が大切にすべき点について有益なお話をたくさん頂きました。

続いての実技講習では、中学生をモデルに、初心者指導の際のポイントを説明して頂きました。跳び箱やタオル、フラフープ等の道具を活用しての練習を教わった受講生は、早速、中学生選手相手にボール出しをして確認していました。中には短時間で成果を上げる指導者・選手の姿もあり、限られた時間ではありましたが、指導者は明日からの練習に活かせるヒントを、選手は技能上達への手応えをつかんだ1日となりました。



また、翌日には県内では初めての開催となる「ビギナーズ大会(中学から競技を始めた選手のみで構成するチームの大会)」が長野市内で行われ、熱戦の様子を工藤先生にご覧いただきました。

本講習開催にあたり、遠く北海道からお越し下さいました工藤先生始め、日本バレーボール協会関係者の皆様、会場校としてご協力下さいました篠ノ井西・東中学校男女バレーボール部顧問の先生方・選手の皆様に心より御礼を申し上げます。



7月 試合 結果

☆ 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会長野県ラウンド

<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.7.1tennohai.pdf>

☆ 第38回全日本バレーボール小学生大会県予選会

<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.7.1syogakusei.pdf>

☆ 第39回北信越国民体育大会(ビーチの部)

http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.7.7kokutai_beach_hokusinetsu.pdf

☆ 第41回北信越ママさんバレーボール大会

<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.7.7mamasan.pdf>

☆ 第17回全国社会人東ブロック男女優勝大会長野県予選会

<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.7.8syakaijin.pdf>

☆ 第48回全日本中学校選手権大会長野県予選会

http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2018siaikeka/30.7.14tyugaku_sotai.pdf

- ☆ 第 68 回中部日本 6 人制バレーボール総合男女選手権大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.7.14tyubunihon_koko.pdf (高校の部)
<http://nagano-vb.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.7.14tyubunihon.pdf> (一般の部)
- ☆ 全日本 9 人制バレーボール実業団男子選手権大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.7.20_9jitsu.pdf
- ☆ 第 7 回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル長野予選会他
<http://nagano-vb.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.7.22soft.pdf>
- ☆ 第 38 回全日本 9 人制バレーボールクラブカップ男子選手権大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.7.26_9club_m.pdf
- ☆ 第 38 回全日本 6 人制バレーボールクラブカップ女子選手権大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.7.26_6club_w.pdf
- ☆ 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.7.26koko_sotai_m.pdf
- ☆ 第 31 回北信越小学生バレーボール大会
http://nagano-vb.or.jp/GAMEschedule/2018siaikeka/30.7.28syogakusei_hokusinetsu.pdf

8月 スケジュール

1.	8/1 (水) ~ 5 (日)	第 45 回全国高等学校総合体育大会バレーボール競技女子	(三重県)
2.	〃	第 45 回全国高校定時制・通信制大会	(神奈川県)
3.	8/3 (金) ~ 6 (月)	第 17 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会	(大阪府)
4.	8/4 (土)	第 21 回全国ヤングクラブ男女優勝大会長野県予選会	(飯田市)
5.	8/4 (土) ~ 5 (日)	第 7 回全日本 6 人制バレーボール実業団選抜男女優勝大会	(松本市)
6.	8/7 (火) ~ 8 (水)	第 39 回北信越中学校総合競技大会バレーボール競技	(石川県)
7.	8/7 (火) ~ 9 (木)	第 30 回 全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会	(神奈川県)
8.	8/7 (火) ~ 10 (金)	第 38 回全日本バレーボール小学生大会	(東京都他)
9.	8/9 (木)	第 39 回北信越国民体育大会監督会議	(長野市)
10.	8/9 (木) ~ 12 (日)	ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	(愛媛県)
11.	8/10 (金) ~ 12 (日)	第 32 回ビーチバレージャパン	(神奈川県)
12.	8/10 (金) ~ 13 (月)	第 38 回全日本 9 人制クラブカップ女子選手権大会	(福岡県)
13.	8/12 (日) ~ 13 (月)	第 9 回全国中学生ビーチバレー大会	(神奈川県)
14.	8/16 (木) ~ 19 (日)	第 29 回全日本ビーチバレー女子選手権大会	(大阪府)
15.	8/17 (金) ~ 19 (日)	第 38 回全日本 6 人制クラブカップ男子選手権大会	(大阪府)
16.	8/21 (火) ~ 24 (金)	第 48 回全日本中学校バレーボール選手権大会	(島根県)
17.	8/24 (金) ~ 26 (日)	第 39 回北信越国民体育大会バレーボール競技 (インドア)	(新潟県)
18.	8/25 (土) ~ 26 (日)	第 53 回全国専門高等学校体育大会	(福岡県)
19.	〃	JOC 第 32 回全国都道府県対抗中学大会長野県男女最終選考会	(安曇野市他)